

中学生教育委員会
日常生活の向上を目指して

1月7日(月)、揖斐川町役場で、中学生教育委員会が行われました。この取組は、よりよい学校生活を築くためにどうするべきかを話し合うもので、町内4中学校の1・2年生の代表16人が参加しました。

前半は、「インターネット、SNSが普及する中で、私たちはどう生きるか」をテーマに話し合いました。過剰な利用が様々なトラブルにつながるから、家族や友達の協力を得ながら自らの意志で制限する必要性を共有しました。

後半は、学校生活をさらに向上させるために4校で共通して取り組む目標を協議しました。そして、「いつでもどこでも だれにでも」をメインテーマとして、「全員が思いやりのある言動をしよう」「全員が気持ちのよいあいさつをしよう」の2つに取り組むことを決めました。



▲テーマを協議する中学生教育委員

第21回中学生海外研修派遣事業
セントジョージ市との交流

1月17日(木)から25日(金)までの9日間、交流都市であるアメリカセントジョージ市で町内の代表中学生18人による派遣研修が実施されました。

研修では地元の3中学校(ミドルスクール)で授業への参加や、お互いの町の良さの紹介、朝食づくりやゲーム等の活動を通して、交流を深めました。また宿泊や週末の活動は現地のホストファミリーにお世話になり、心温まるおもてなしを受け、全員が安心して過ごしました。研修中、行く先々でお礼を伝えると「揖斐川町の皆さんが、私たちに親切にしてくれたからです」と言われ、これまでの交流の深さを実感することができました。帰国した生徒たちは「研修で学んだことを今後の生活に生かしたい」と話しています。



▲教育委員会を訪問した派遣団

高齢者が関わる交通死亡事故などの抑止に特化した高齢者総合対策の開始に係る「協働式」

1月31日(木)、揖斐警察署で、高齢者が関わる交通死亡事故などの抑止に特化した高齢者総合対策の開始にかかわる「協働式」が行われました。

これは、揖斐警察署の主導で、官民が一体となり新たな高齢者総合対策を岐阜県下で先駆けて実施するもので、町やいび川農協の職員が高齢者宅へ訪問する際に、交通安全啓発チラシや反射材を配布することで、交通安全意識の向上を図っていきます。

併せて振り込め詐欺等の犯罪被害防止や災害発生時における注意喚起についても情報提供を行っていきます。

式典で、富田町長は揖斐地区交通安全協会会長から啓発用チラシと反射材を受け取り、「関係機関で協力して、高齢者が安全安心して生活できる町づくりに進めていきたい」と挨拶しました。



▲啓発チラシと反射材受け取りの様子

谷汲山華厳寺節分厄払い行事

2月3日(日)、谷汲山華厳寺で、谷汲観光協会主催の節分厄払い行事が行われました。

毎年恒例となっているこの行事には、約8000人の参拝者が訪れ、豆まきに参加しました。

華厳寺本堂で御祈祷が行われた後、本堂と高さ4メートルの赤鬼が設置された仁王門の2か所で、「福は内！」の掛け声とともに、家内安全、無病息災などを願い、福豆が勢いよくまかれ、多くの参拝者がその豆をつかみ取るうと懸命に手を伸ばしていました。

また、境内では甘酒の無料サービスも行われ、甘酒で一息をつく参拝者の姿もありました。



▲多くの参拝者の前で福豆がまかれました